

OFDA2000

ウール、カシミア、合成繊維、ガラス繊維、
その他繊維の直径と湾曲度を高速自動測定。



お客様からご好評を賜りましたOFDA100から改良を加えまして、OFDA2000では同様のデジタルビデオ技術を採用し、繊維の直径と分布を0.1ミクロンの解像度まで測定。厳正な試験に合格し、国際羊毛繊維機構(IWTO)の試験方法、"IWTO TM47"にて認証された唯一の画像プロセス装置です。

ウール、合成繊維、モヘア、カシミア、ガラス繊維、金属線、亜麻、人毛の直径においては、OFDA2000でしか正確に測定できないケースもあり、OFDA2000固有の長所として、数千個もの繊維片(スニペット)を30秒以内で測定可能です。

繊維サンプルは通常、直径に関して高い標準偏差を持っているため、顕微鏡や電子顕微鏡を使用した人間による測定では平均と分布を正確に測定できず不十分で、また、オペレーターによる恣意的な測定や測定ムラが発生する危険があります。

OFDA2000は、繊維の湾曲度を高速かつ直接測定する唯一の機械です。湾曲度は繊維の捲縮と関連しており、例えば水フィルタ、空気フィルタの性能に影響を与える等、繊維の加工においては重要なパラメータです。



OFDA2000の特徴・メリット

世界最速の繊維直径・湾曲度測定器。1分当たり最大20,000片の繊維片を測定可能です。

同分野の専門家の方々による評価、ラウンド・トリアルを通じて世界的認知度を向上。"IWTO TM47"の試験方法にて認証されました。

ウェブ状態のサンプルから2mmの繊維片に切断し、様々な繊維の直径を測定可能です。

獣毛、人毛の繊維ステーブルにおける直径の多様性を測定可能です。

摂取する食料の影響により、獣毛や人毛には差異や変化が現れます。これらの差異や変化は繊維の強度や加工性の大きな影響を与えます。

繊維の湾曲度を正確に測定可能です。

農場やその他実地試験といった用途には、キャリアケースに組み入れられた携帯タイプもあります。

業界標準としての19年以上の実績。これまで30カ国にて、300台以上のOFDA試験機を販売提供しました。

www.ofda.com

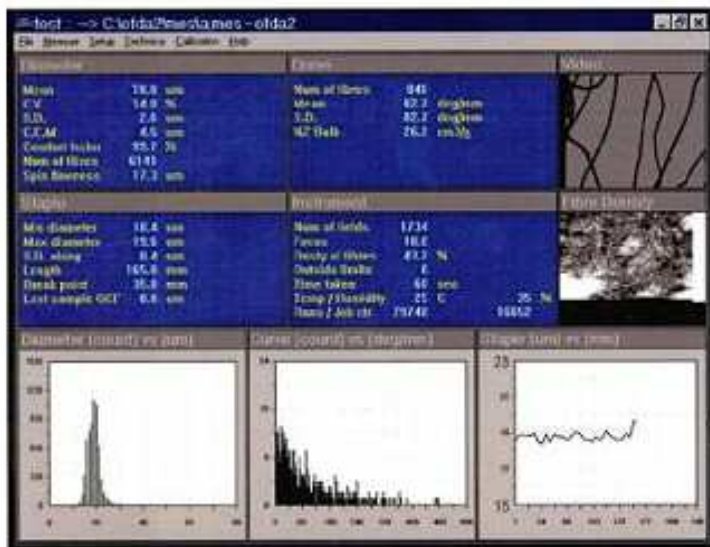


OFDA2000は次の試験結果を表示:

直径: 平均、標準偏差、粗繊維率(%), ヒストグラム
湾曲度: 平均、標準偏差、ヒストグラム
獣毛、人毛の繊維ステープルにおける直径の多様性を示すグラフ

繊維片切断モードでの測定手順:

- 1) 刃幅0.7mmまたは2mmのブレードを使用した切断機により、サンプルから繊維片を切り出します。
- 2) 70x70x2mmのスライドガラス上に繊維片を拡散させて載せます。
- 3) スライドガラスをOFDA2000本体に設置すると、25秒で自動測定します。
- 4) 測定が完了すると、繊維片を掃除機で除去します。



参考資料、参考研究論文については、最寄りの代理店へご連絡、または、ウェブサイト www.ofda.com へご訪問ください。

((国内お問い合わせ))

〒541-0046 大阪市中央区平野町4-6-16
株式会社 グロツ・ベッケルト ジャパン
営業 薩摩

TEL: 06-6222-9401

FAX: 06-6222-3611

メール: masakazu.satsuma@groz-beckert.com

弊社試験機器ホームページ:

<http://senikiki.com/products/prd-test.htm>

構成機械部品

- ・パソコンとWindowsXP
- ・OFDA2000本体
- ・試験結果の表示、ソート、印刷に使用のMeswinソフトウェア
- ・付属品セット
- ・自動繊維片スプレッド(ベンチトップタイプのみ)
- ・繊維切断器(ベンチトップタイプのみ)

テクニカルデータ:

- ・ベンチトップタイプ:
 - ・重量: 10kg
 - ・寸法(長さx幅x高さ): 49x39x30cm

・携帯タイプ:

- ・重量: 20kg
- ・寸法(長さx幅x高さ): 53x53x30cm

測定範囲:

- ・直径: 4~300um
- ・湾曲度: 0~360度/mm
- ・直径精度(サンプリングエラーを除く): 平均と標準偏差は±0.1um、ヒストグラムは1um bins
- ・湾曲度解像度: 平均と標準偏差は±1度/mm、ヒストグラムは1um bins
- ・繊維種類: ウール、カシミア、モヘア、その他各種獣毛、合成繊維スライバー、ガラス繊維、細金属線、一部の植物繊維
- ・電圧: 交流110~240V
- ・消費電力: 20W

